

■ 世界自閉症啓発デー 2019・静岡 ■

～ 講演会とシンポジウムの開催について ～

毎年4月2日は国連が定める「世界自閉症啓発デー」です。

「自閉症スペクトラム」という言葉は知られるようになりましたが、具体的な支援となると、よくわからないという方が多いのが現実です。

障害のある人に対する合理的な配慮が求められるようになりましたが、具体的な支援をどうしたらよいかわからないという方も多いことと思います。

本年は、以下のように「浜松」「静岡」「沼津」の3カ所で講演会とシンポジウムを開催いたします。支援に取り組んでおられる方、保護者の方、職場、窓口、街中など様々な場所に関わっていただいている方もおられると思います。幅広い方を対象に企画いたしますので、関心のあるお話しをお聞きください。

1. 講演会およびシンポジウムの日程、講師およびテーマなど

(1) 浜松会場 3月9日(土)

【 アクトシティー浜松 研修交流センター 62 研修交流室 】

時間	テーマ・内容・講師
9:50～ 10:20	【講演1】 自閉症スペクトラムの特性を持つ人への合理的配慮 学校、職場、店舗、役所の窓口など日常生活の場において必要とされる自閉症スペクトラムの特性を持つ人への合理的な配慮。(基礎知識) ■講師 津田明雄 静岡県自閉症協会 会長
10:30～ 12:00	【講演2】 ■西陣麦酒の取り組みと困難な課題を抱える方の支援 松尾先生は京都市で自閉症の人たちと一緒に西陣麦酒の醸造・販売に取り組まれています。(生活介護事業) また、不登校や行動障害など知的障害の有無に関わらず困難な課題を抱える方の支援にも取り組まれています。 成人期における課題を中心にしながら、西陣麦酒の取り組みの事例と支援の基本的な考え方についてお話をさせていただきます。 ■講師 松尾浩久 特定非営利活動法人 HEROES 理事長
13:10～ 14:50	【講演3】 子どもの理解と支援の工夫(児童期) 児童期は学習に遊びに様々な取り組みが行われ、成長を感じられる時期ですが、様々な課題もみられ、その時々に応じて対応が必要となとも重要な時期となります。 学校、家庭、そして放課後デイサービスなどの現場では、子どもを理解しながら様々な工夫を行うことが求められます。 具体的な支援を経験されながら、現在は相談支援の取り組みをしておられる笠合先生に、注目すべきポイントや個に応じたアイデア等、具体的でわかりやすいお話をさせていただきます。 ■講師 笠合竜明(かさごたつあき) 社会福祉法人 金沢手をつなぐ親の会

	相談支援事業所 きずな 主任 相談支援専門員
15:00～ 16:30	【シンポジウム】「よりよい支援を実現するために」 ＜シンポジスト＞平野浩一（浜松市発達医療総合福祉センター センター長）、山田浩昭（浜松特別支援学校 校長）、内山敏（浜松市発達障害者支援センタールピロ 所長）、笠合竜明（金沢手をつなぐ親の会 相談支援専門員）本宮早奈絵（子羊学園 アグネス 相談支援専門員）、保護者

（２）沼津会場 ３月２４日（日）

【 サンウェル沼津大会議室 】

時間	テーマ・内容・講師
9:50～ 10:20	【講演１】自閉症スペクトラムの特性を持つ人への合理的配慮 学校、職場、店舗、役所の窓口など日常生活の場において必要とされる自閉症スペクトラムの特性を持つ人への合理的な配慮。（基礎知識） ■講師 津田明雄 静岡県自閉症協会 会長
10:30～ 12:00	【講演２】みんなが幸せになるために（本人・家族・支援者） 自閉症スペクトラムの特性を持つ人は、コミュニケーションや社会性に課題があるために、本人、家族、支援者がそれぞれ理解しあうことが難しい面があり、さまざまな苦労がみられます。みんなが幸せになるためのスタートは、本人を理解することです。そして、本人と周りの人がともに納得できるような日々の生活、活動、環境を用意することが大切です。 児童期から成人期、そして親亡き後につなげていかなければなりません。親にとっても、支援者にとっても大きな課題となります。成人期を中心に考えながら、本人も周りの人も、ともに幸せになるということについて考えます。 ■講師 津田明雄 静岡県自閉症協会 会長 特定非営利活動法人クローバー 会長
13:10～ 14:50	【講演３】児童期における療育の取り組みと支援の工夫 児童期は学習に遊びに様々な取り組みが行われ、成長を感じられる時期ですが、様々な課題もみられ、その時々に応じて対応が必要なとても重要な時期となります。学校、家庭、そして放課後デイサービスなどの現場では、子どもを理解しながら様々な工夫を行うことが求められます。 具体的な支援を経験されながら、現在は相談支援の取り組みをしておられる笠合先生に、注目すべきポイントや個に応じたアイデア等、具体的でわかりやすいお話をさせていただきます。 ■講師 笠合竜明（かさごたつあき） 社会福祉法人金沢手をつなぐ親の会 相談支援事業所 きずな 主任 相談支援専門員
15:00～ 16:30	【シンポジウム】「東部地域の課題と支援の充実を目指して」 ＜シンポジスト＞笠合竜明（金沢市手をつなぐ育成会 相談支援専門員）、小野美和（静岡県発達支援コーディネーター）、保護者（２名）

(3) 静岡会場 3月30日(土)

【 シズウェル 703会議室】

時間	テーマ・内容
9:50～ 10:20	【講演1】 自閉症スペクトラムの特性を持つ人への合理的配慮 学校、職場、店舗、役所の窓口など日常生活の場において必要とされる自閉症スペクトラムの特性を持つ人への合理的な配慮。(基礎知識) ■講師 津田明雄 静岡県自閉症協会 会長
10:30～ 12:00	【講演2】 支援の現場から見た成人期の支援 (株)エンカレッジは大阪を中心とした地域で発達障害の方の特性を持つ当事者や家族の方からの相談を受けて、就労や生活面についての具体的なアドバイスや支援に取り組まれています。 一人一人の特性、性格、得意なこと、苦手なことなどを理解し、具体的な進め方を考えていくことが大切であり、幅広い取り組みのご経験の中から、成人期の支援を中心に話しをしていただきます。 ■講師 高橋亜希子 (株)エンカレッジ 取締役
13:10～ 14:50	【講演3】 学齢期の子どもの理解と支援 特別支援教育が広がり、普通の学校でも自閉症スペクトラムの特性を持つ子供に応じた支援について基本的な考え方が理解されるようになってきました。 しかし、子どもたちは一人一人違いがあり、よりよい支援を行うには、一人一人を理解し、一人一人に応じた支援を行うことが求められています。 子どもの理解と、具体的な支援のアイデアについて話しをしていただきます。 ■講師 坂井聡 国立大学法人 香川大学 教育学部 教授
15:00～ 16:30	【シンポジウム】「自立する力を高めるために」 ＜シンポジスト＞ 坂井聡（香川大学教育学部 教授）、高橋亜希子（エンカレッジ 取締役）、稲葉俊彦（静岡市発達障害者支援センター 主任支援員）、保護者

2. 定員

浜松会場 約 60 名

静岡会場 約 150 名

沼津会場 約 100 名

3. 参加費 一般：1,000 円

※ すべてに参加いただいても、一部だけに参加いただいても、参加費は変わりません。

※ 会員、賛助会員、研究会員は参加費は不要です。(申し込みは必要です)

4. 主催など

(主 催) 静岡県自閉症協会

(後 援) 静岡県 静岡市 浜松市 沼津市、静岡県作業所連合会・わ
静岡県手をつなぐ育成会、静岡県知的障害者福祉協会

(協 力) 静岡県発達障害者支援センター 静岡市発達障害者支援センター
浜松市発達障害者支援センター

5. 申し込み (FAX 番号 054-259-2712)

※ お一人で複数の方の申し込みをされる場合は、氏名欄には代表者のお名前と他何名と人数をご記入ください

※ 項目の中は、該当を○で囲んでください。

※ 連絡先はメールアドレスでも結構です。

<主催 静岡県自閉症協会> お問い合わせは事務局まで (080-3620-8711)

氏名			
所属			
会員	会員 賛助会員 研究会員 一般		
保護者・指導者	保護者 指導者		
連絡先	※ FAX 番号、電話番号、など		
お住まい	() 市・町 (市町だけで結構です)		
参加を希望される講演、シンポジウムの欄に○をつけてください。(複数で参加の場合は人数)			
	3 / 9 浜松会場	3 / 24 沼津会場	3 / 30 静岡会場
講演 1			
講演 2			
講演 3			
シンポジウム			
備考			

静岡県自閉症協会ホームページ

<http://www.ei-21.com/asj-shizuoka/index.html>

